

# 2022年

## 家庭の容器包装プラスチック 使い捨てプラスチック調べ

# 308人の声



2023年3月

大阪府生活協同組合連合会  
全大阪消費者団体連絡会  
地球環境市民会議 (CASA)

2020～2022プラスチック調べ報告書、  
プラスチック調べの用紙、その他の資料は  
大阪消団連webサイトで公開しています。  
自由にご活用ください。

<https://osakacon.org/pr.html>

家庭のプラスチック調べ



<https://osakacon.org/pr.html>

# 家庭のプラごみ調べ 概要

## ① プラごみ調べの期間

- ・ 2022年6月～11月の間の連続3日以上を参加者が自由に設定

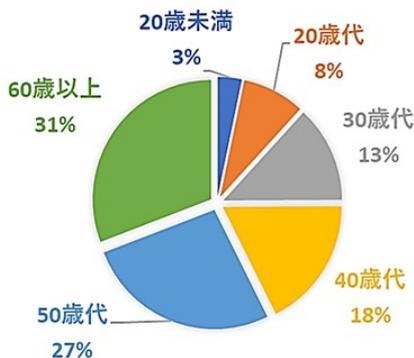
## ② プラごみ調べの方法

- ・ ごみとして捨てた容器包装プラスチックと使い捨てプラスチック製品の毎日の“数”（大きさ・重さは問わない）を、10分類に分けて記録

\* コンシューマーズ京都作成のフォーマット（2019年）を一部変更して使用

## ③ プラごみ調べの参加者

- ・ 308人
- ・ 大阪府内43市町村のうち32市町村と府外7自治体の居住者
- ・ 平均調査日数 3.6日、平均同居家族人数 2.8人
- ・ 年齢構成



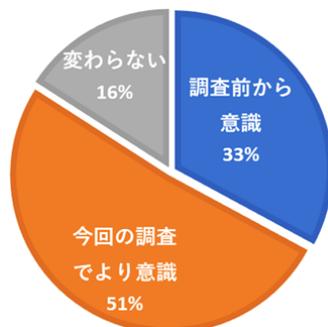
- 目的はプラごみ問題について、日々の暮らしの中で考える“きっかけ”にすることです。
- データの正確性は求めていますので、次ページのプラごみの数・分類はおよその状況としてご覧ください。

## ④ 調査後の意識の変化

\* 調査前と比べて、買い物やゴミ出しをする時にプラごみについて意識するようになりましたか？

<選択肢>

- 「調査前から意識していた」
- 「より意識するようになった」
- 「変わらない」



## 平均プラごみ数（7日換算合計）は144.4個

- ・ プラごみ数の集計は、記入データ不備を除いた301人分
- ・ 最多977.7個、最少1.4個（ばらつき大）
- ・ 食品関係 73%（\*分類1～5）
- ・ 容器包装類 71%（\*「容器本体」と「フタ・留具・ラベル・ラップほか」）
- ・ 製品類 27%（\*「製品本体」と「本体」および「食品ラップ」）
- ・ レジ袋・ポリ袋8.1個、配達用袋類 5.1個

1. 飲料・酒				2. 食品			
容器本体			合計	容器本体			合計
ペットボトル	ペット以外のボトル	外袋・カップ・トレイ・チューブ など		ペットボトル	ペット以外のボトル・外袋・カップ・トレイ・チューブ など	フタ・留具・ラベル・ラップ その他	
7.8	1.3	4.0	21.1	2.3	36.8	21.9	60.8

3. 添付の使捨て容器				4. 自分で購入した使捨て容器				5. 食品ラップ
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計	合計
2.5	2.4	2.6	7.5	0.5	0.5	0.5	1.5	15.1

6. 生活用品				7. ペット用品			
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計
8.5	7.6	5.3	21.3	0.4	0.5	0.2	1.1

8. レジ袋・ポリ袋			9. 配達用の袋類			10. その他・不明		
本体	その他	合計	本体	その他	合計	容器本体	その他	合計
7.2	1.0	8.1	4.7	0.4	5.1	1.5	1.2	2.8

総合計	平均値	144.4	ごみ数 内訳	50未満	50～100	100～150	150～200	200～250	250～300	300～350	350～400	400～450	450～	計		
	最大値	977.7		人数	43	80	68	44	24	16	11	8	5		2	301
	中央値	119.0		構成比	14%	27%	23%	15%	8%	5%	4%	3%	2%		1%	100%
	最小値	1.4														

# 消費者308人の声

## 不要と感じた容器包装プラ・使い捨てプラ

### ①食品の多重包装

- ・最も多く、70件以上。
- ・そのうちのほぼ半数を占めたのがトレイ。  
(野菜・果物、肉、魚、冷凍食品、弁当・総菜、菓子など)
- ・個包装には10件超。



### ②ペットボトルのラベル 30件超



### ③パンや野菜の留め具 15件超



### ④添付のストロー・スプーン類 15件以上



### ⑤食品以外

- ・紙箱の外装フィルム、レジ袋、  
ダイレクトメールの封筒、配達時の緩衝材など



## 台所でプラスチック使用量を減らすアレコレ

### ①手作りを楽しむ

例えば野菜。本格的な家庭菜園でなくても、キッチンでベビーリーフやカイワレ大根を育てたり、買ってきたネギを再生したり。

例えばお茶。京都市にはお茶文化の継承の意味も込めて「リーフ茶でペットボトルを減らそう」というキャンペーンがあります。麦茶も丸粒から煮出せば、パック不要です。

例えばドレッシング。「手作り簡単ドレッシング」などとネット検索すれば、家にある調味料でできるレシピがたくさん出てきます。時々試してはどうでしょうか。

### ②レンジの蓋は「レンジ可の陶磁器」でも代用可

プラごみ調べでは食品ラップの使用数も数えていただくので、毎回、関心が寄せられます。保存時には密閉容器や蜜蝋ラップなどへの切り替えができますし、レンジで加熱する際には、食器棚にある「レンジ使用可の陶磁器」をかぶせて使うこともできます。

# プラスチックを減らす工夫、提案、意見

## ＜消費者の取組＞

### ① 必要のないものを買わない、プラでないものに変える・選ぶ

- ・要るもの、要らないものが分かるよう家の中を整理
- ・買い物回数を減らす、不必要なものは購入しない
- ・エコバッグを複数持ち歩き使い分ける
- ・食品ラップを手放す・無駄に大きく使わない
- ・過剰包装のものは買わない、無包装のばら売りを買う
- ・自然素材のものを買って支援する

### ② プラを断る

- ・レジ袋、プラスチック類、クリアファイルをもらわない

### ③ プラを再利用する

- ・食品の包材・トレペの袋・生協配達袋などをごみ袋に
- ・プラスチックをペット用に再利用

### ⑤ リサイクルする

- ・きちんと分別して、行政・店舗のリサイクルに出す
- ・生協の配達袋は返却してリサイクル

### ⑥ その他

- ・弁当・お茶は自分で、パック入りでない茶葉を使う
- ・浄水器・家庭用炭酸水機を使う、生ゴミ処理機を使う
- ・ごみ量を減らしてゴミ袋をへらす
- ・環境に対する意識を変える、知らせる
- ・プラスチック調べに参加する、用紙を配る、アプリを作る

## ＜事業者・社会全体の取組＞

- ・ペットボトルをラベルレスに、ラベルを紙製に
- ・野菜の袋、卵パック、飲料包材、添付ストロー等を紙製に
- ・包材をコンパクトに、ばら売り・量り売り・ビン入りを広げる
- ・マイバッグ利用者にポイント付与
- ・プラスチック等の有料化、ペットボトルの使用禁止
- ・公共施設にウォーターサーバーを設置
- ・大量生産・大量消費の仕組みを見直す
- ・消費行動を変えることで削減量が分かる仕組み（アプリ）

## 様々な感想・意見の声

- こんなにもプラスチックに頼っていたのだなと感じた。プラスチックがない世界を想像できないなと感じたが、環境のために地球のために自分たちのためになるべく使わないよう買わないよう、そしてプラスチックにかわる代役を考えていきたいと思った。
- 今後、ゴミ箱に捨てる前に、分別、リユース、リサイクルに回すべきものか考え直す事が大切だと思いました。
- 今の世の中プラスチック製品が無ければ困る。それに代わる物が出てくれば喜んでそちらを選びたい。しかし価格との相談もあるし・・・難しい問題だがその中でよく考えて本当に必要な物を買っていきたい。100均で安いからと今要らない物を安易に買わない事を肝に銘じたいものだ。
- メーカーがどんどん新製品を発売し、馴染んだ商品はいつのまにかなくなっていく現状。競争会社では、しかたがないことでしょうが、新しいプラ包装の商品を買わざるを得ない時、ゴミがふえる罪悪感みたいなものを感じています。
- プラを使用し商品販売する企業はプラゴミによる環境汚染に責任を持って欲しい。販売で終わらず回収→処理まで。
- プラ製品を使いたくないと思いつつも選択肢に他の素材のものが無いと、しかたなく購入せざるを得ないということが多々ある。もっと製品を作る企業側に努力してほしいと思う。プラでなくては困るものもあることは確かだが、生活の中で1つずつでもプラ以外に変えていくことを消費者が真剣に考え、行動する必要がある。
- プラゴミ調べに参加し、生活用品はほとんどがプラ製品を使用しているなと思いました。社会全体でプラ用品を他の物に代替できる工夫を考えなければいけないと思いました。
- 子どもと一緒にリサイクルできる会場や施設が近くにあれば遊び感覚で学べると思います。
- ペットボトルもカバーを無くしキャップで商品の表示をするように移行しているのが目につき始めました。メーカーの努力、消費者の考え方の変化で変わりつつありますね。

## プラごみ調べについての声

- プラごみ調査をしないとプラゴミとして気がつかないゴミが多い事がわかりました。正の字で1つずつカウントしていくと意外に楽しく、そして、改めてプラゴミの多さに気がつきました。
- 3回目のプラごみ調べ。今回は夫をしっかり巻きこみ、いかにプラごみが多いかを肌で感じてもらいました。たのしくできましたよ。今回の記入表は保存しておき、今後時々、我が家独自で継続してゆく所存です。
- 日頃からプラゴミの多さに驚いていますが、今回、さらに意識するように分別すると、何が多いか分かりました。この結果が平均的なのか多いのか少ないのを知りたいです。改めて意識することになり、よかったと思います。
- 前回にくらべて捨てるプラスチックゴミが減ったように思います。自然にやさしい商品を買っていきたいと思います。プラスチックゴミが少しでも減ることを願っています。

### 分別回収をめぐるアレコレ

#### ①分別回収の後、本当にリサイクルされているの？

家庭からのプラスチックごみの分別回収は、法律に定められたルートでリサイクルするルールに従って行われています。回収されたごみは選別作業により、リサイクルできるプラごみだけがリサイクルされます。

自治体による回収後の選別では1割程度が異物や汚れがひどいものとして取り除かれます。リサイクル工場では再度選別が行われ、約5割が再生プラスチック原料になったり、ガスや油の状態にして製品原料に使うなどして、リサイクルされています。残りの5割はリサイクルできない残渣として、ごみ発電用の燃料に加工されたり、焼却処理されています。

#### ②汚れているプラごみをどこまで洗う？

軽く水洗いしても汚れが落ちなければ、焼却ゴミとして出すこととしている自治体が多いです。お住いの自治体のルールを確認しましょう。

#### ③リサイクルすれば、たくさん使ってもいい？

プラごみといってもプラスチックの種類が様々で、混在しているとリサイクルできなかつたり、できても品質が悪いため用途が限られています。リサイクルにもエネルギーが必要で、永遠にリサイクルし続けることはできません。

また、余りにも多くのプラスチックを様々な形で消費しているので、環境中への意図しない放出をなくすことは不可能です。社会全体で使用量自体を減らすことが求められる状況ではないでしょうか。

# 家庭のプラごみ調べ2022 まとめ&呼びかけ

## (1) 自分が捨てているプラごみを見つめましょう

\* 日々の暮らしの中で気づき、考える“きっかけ”として

## (2) 科学の知見に学び、プラごみ対策の緊急性を共有しましょう

\* 科学が明らかにしつつあるリスク（生態系汚染・温暖化の一因、人体への影響）を放置せず、対策を

## (3) 3Rの優先順位で、それぞれ大胆な取組を進めましょう

\* リデュース（減量）を最優先に→リユース（再利用）→リサイクル（再生）の順番で

## (4) プラごみ減らしを楽しみましょう

\* 自分の暮らしの見直しを少しずつ

## (5) 企業・行政にも「声」を届けましょう

\* 消費者の役割の一つとして



## \*プラごみ減らしを楽しむ\*

- プラごみ減らしを義務的に取り組んでも、長続きしないのではないのでしょうか。それよりも、プラ以外のものを探すこと、プラ以外の素材の良さを見つけること、環境への影響を少し減らせたと感じることなど、プラごみ減らしを暮らしの中で楽しんでみませんか。
- それぞれの暮らしの中で、プラスチックの有用性が必要な場面はたくさんあり、時と場合に応じて変わっていきます。その変化の中で、自分にできそうなことをやってみる（負担であれば元に戻す）ことの繰り返しを大切にして、暮らしの見直しをしていきましょう。
- プラごみ減らしを楽しくできたら、家族、職場、友人など周りの人と共有したり、SNSで発信したりして、楽しさを広げましょう。

<お問合せ>

全大阪消費者団体連絡会（大阪消団連）

大阪市中央区内本町2-1-19-430 TEL.06-6941-3745（平日10～17時）

e-mail : shodanren@osacon.org